

【執筆者紹介】

高橋 あつ子 (たかはし あつこ)

早稲田大学大学院教職研究科准教授

川崎市立小学校教諭として、重度重複障害児学級、障害児学級、通常の学級を担任。その後、川崎市立総合教育センターで、教育相談、特別支援教育システム構築に携わり、川崎市立小学校教頭を経て現職。現在、学校心理士、臨床心理士、特別支援教育士スーパーバイザーとして、幼稚園から高校まで、巡回相談、校内研修などでかかわっている。

*本書では、前半部分を担当。

〈おもな著書〉

『LD・ADHDなどの子どもへの場面別サポートガイド』（編著）ほんの森出版、2004年

『LD・ADHDなどの子どもへのアセスメント&サポートガイド』（共著）ほんの森出版、2007年

『一から始める特別支援教育「校内研修」ハンドブック』（著）明治図書、2007年

『イラスト版 自閉症のともだちを理解する本』（編著）合同出版、2010年

『特別支援 その子に合ったサブルート探し』（編著）ほんの森出版、2012年

石橋 瑞穂 (いしばし みずほ)

神奈川県川崎市立御幸小学校教諭（通級指導教室）

通常の学級担任18年、通級担当者になって4年目。それぞれの子どもに合った支援を模索中。研修が大好き。学んだことをどう実践していくか、日々修行。

*本書では後半の「くまくんのお話」を執筆。

〈おもな著書〉

『気になる子と関わるカウンセリング（チャートでわかるカウンセリング・テクニックで高める「教師力」2）』（分担執筆）ぎょうせい、2011年

『児童心理』「学校と子どもを活かすブリーフセラピー」（分担執筆）2012年2月号臨時増刊